



座光寺風景

座光寺夏祭り（七夕行列）

10周年を迎えた座光寺夏祭り。仕掛け花火やプロジェクションマッピングなど、新たな企画も加わりました。また、スペシャルゲストも登場し、会場は大いに盛り上がりました。

余興として座光寺保育園児による踊り、座光寺小学校金管バンドと高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校チアリーディング部の皆さんに出演をお願いしました。

そんな時、座光寺の果物生産農家の方から、「座光寺小学校で行う打ち上げ花火を中止して欲しい」との申し入れがありました。新たな花火打ち上げ場所を確保しなければなりません。「浅間砦跡」を第一候補に「エスバードの駐車場」「天竜川の河川敷他。消防の皆さん、花火打ち上げ業者さんと現場確認を行いました駄目でした。以上の理由で本年度の花火は「仕掛け花火」と決定しました。

夏祭りの準備は、四月の企画委員会議から始まった。企画委員会議とは、夏祭りの日程・事業の内容・会場設営・巡回バス・交通整理・音響・出店・アトラクション・花火・他、祭りの全てを決定する会議でした。昨年の祭りの反省に基づき、安全で皆さんに喜んでいただける様に、会議を重ねました。

10周年を迎えた夏祭り

座光寺自治会 社会部

いしました。

また、中学校には再度お伺いし座光寺の「ポイント制度」について説明させて頂き、座光寺の部員さんの参加をお願いしました。

今年度の夏祭りはテーマがあります。十周年の夏祭りだという事です。当初の予定ではアトラクションとしてドローンを飛ばし座光寺地区内を撮影し、麻績校舎へ投影するなどの話もありましたが、「ものまね芸人ニッチローショー」に決定しました。

ニッチローさんは、私達を本当に楽しませて頂きました。女性司会者の方との息もピッタリで、子ども達とのジャンケン大会は、本当に嬉しそうな笑顔が見れました。

もう一つのアトラクションは、麻績校舎へのプロジェクションマッピングでした。

リニアや元善光寺、桜などの映像が音響と共に映し出され、テーマである「夏祭り十周年」の感動を皆さんで共有した瞬間でした。

（関連記事四頁）

市政懇談会が開催されました

七月一日(月)、座光寺公民館において市政懇談会が開催されました。

例年の通り、牧野飯田市長の市政運営方針の説明に続き、本年は座光寺から子ども桜ガイドの取り組みについて話題提供がありました。桜ガイドは、当初五人だったメンバーが、本年は五十人に増え、取組を通じて、地域や子どもたちに良い影響があった事などが紹介されました。

この中で座光寺小四年生の佐藤舞桜さんは、皆さんの役に立てて嬉しかったこと。飯田女子短大の田中すみれさんは、地域を誇りに思う事ができ、その後も震災ボランティアなど様々な事に挑戦するきっかけになった事などを発表しました。



桜ガイドについて発表した佐藤舞桜さん

続いて、質疑応答が行われ、出席者からの質問についてより次のような回答がありました。(主なもの)

○リニア関連事業の代替地の確保について
 座光寺で移転対象は九十件ある。共和・宮の前地区の候補地代替地登録が約四〇〇件ある。業者等とも協力し代替地を確保していきたい。

○共和地区が候補地となっているコンベンション施設について
 南信州広域連合が検討委員会を立ち上げた。共和地区のほか十か所あまりの候補地の中から今年度中に方向性を決定したい。

○警察官舎の座光寺地区内への移転要望について
 地区内移転に向け関係機関へ要望し、代替地の情報も提供しているが、今のところ回答はない。

○リニア関連事業に伴う農振地域の除外手続きの短縮について
 法定の手続きなので特

例はなく一定の時間がかかるが、速やかな手続きができるよう要望していく。

○リニアの防音フード設置について
 市としては様々な機会を捉えて要望しているが、JRから満足な回答は得られていない。県や他のリニア関連自治体とも協力してフード設置に向けて取り組みたい。

○スマートインター出入口の信号機設置について
 市としても警察に要望書を提出した。

○万才線の速度規制や信号機設置について
 市として検討してゆく

○車が無くても生活できる公共交通について
 これまでの地域の取り組みや、福祉・公共輸送の取り組みを連携して充実させていきたい。

○老朽化が進む大堤市営住宅について
 耐震診断を行った。その結果をうけて今後整備計画を策定したい。

○バス停留所について
 リニア駅にはバスの停留所は設ける予定。スマートインターには停留所設置の予定はない。

ガイド組織設立と今後

二〇〇〇年浪漫の郷委員会会長 湯澤英範

二〇〇〇年浪漫の郷委員会の総会・記念行事が、七月七日(日)に開催され、座光寺の魅力を外内に発信し地域の発展に寄与しようとする「ガイド組織」の設立が承認された。リニアを見据えた、住民による地域活性化策で画期的な取り組みのスタートである。

盛大にスタートを切ったとはいえ、今日までの検討段階からガイド組織の運営は、前途多難な道であることは十分に承知している。基本構想の「自然と歴史・文化を活かしたまちづくり」の目指す姿を実現するために積極的に展開していく所存。具体的には、座光寺全域から選ばれた精鋭による「幹事会」が、ガイド

のテキスト作りやガイド員の募集、先進地視察など本年度の事業を力強く9月にキックオフする。座光寺の夢を実現するガイド組織に気軽な参加を期待している。

座光寺全域から選ばれた精鋭による「幹事会」が、ガイドのテキスト作りやガイド員の募集、先進地視察など本年度の事業を力強く9月にキックオフする。座光寺の夢を実現するガイド組織に気軽な参加を期待している。

飯田市消防技術大会結果

飯田市第4分団(座光寺)	
ポンプ車操法の部	16位
小型ポンプ操法の部	18位
ラッパ吹奏の部	11位
救急操法の部	16位

夜間、休日の訓練ご苦労様です。これからもよろしく願います。(広報部)



吉川節雄さん危険業務従事者叙勲を授章



吉川節雄さん(共和地区)は、平成三十一年度春の危険業務従事者叙勲において、瑞宝双光章を受章されました。

吉川さんは、昭和四十五年に飯田・鼎・上郷消防組合に採用されて以来、平成五年には、飯田広域消防において初の救急救命士の資格を取得するなど、およそ四十年にわたって、地域住民の生命、財産を守るため、救急・消防業務に従事されました。

吉川さんに伺いました。

授章式の様子について吉川さんは、五月二十九日に東京霞が関の総務省内で行われた勲章の伝達式に続き、皇居豊明殿において即位されて間もない天皇陛下にお会いしました。「陛下の間近で慰労のお言葉をいただき大変感激しまし

た」とおっしゃっていました。

また、授章の感想について「私が長年にわたり、消防・救急という尊い業務に従事することができたのは、地域の皆様方からのご支援とご指導をいただいた賜物で、地域の皆様に心より感謝いたします。また、授章を終生の励みとして、地域の発展のために尽くしていければ」とおっしゃっていました。

昨年度まで、座光寺地域自治会の副自治会長も務められた吉川さん。ますますご活躍される事を祈念しております。



瑞宝双光章 勲章

麻績のお宝体験事業がはじまりました



七月から麻績のお宝体験事業が始まりました。

この事業は、座光寺の子どもたちに、地域の行事に積極的に参加してもらい、地域の魅力に触れ、地域の方々と交流を深める事で、将来この地域で活躍してもらえ、人材を育成する事を目的としています。

座光寺地域に住む小中学生を対象に、スタンプカードを配布し、麻績のお宝体験に指定された行事に参加すると、スタンプがもらえる仕組みで、十個のスタンプを集めると、地域券と交換できます。

地域券は、座光寺地区内の協賛いただいた各店舗で商品券として使用できます。

麻績のお宝体験事業の対象

となる事業は次の通り

(主なもの)

- ・ 伝統行事の体験
- ・ 座光寺夏祭り
- ・ 人形劇まつり
- ・ 飯田りんごん
- ・ (座光寺連として参加)
- ・ 座光寺地域市民運動会
- ・ 文化祭
- ・ 防災訓練
- ・ ごみゼロ運動(春・秋)
- ・ 水辺の広場で川遊び
- ・ 子ども桜ガイド
- ・ 座光寺公民館育成部主催行事(ふるさと体験や星空観察会など)
- ・ 各地区主催行事 など

対象行事には、お宝体験対象であるマークがついています。



協賛いただいている店舗は次の通り (七月時点)

- ・ 吉丸屋
- ・ いたう薬店
- ・ から揚げビリー
- ・ 高岡亭酒店
- ・ かじか
- ・ たなだ酒店
- ・ 遊月
- ・ みそ膳
- ・ 矢沢商店
- ・ ふじ松

協賛店随時募集中です。

飯田りんごんに参加しました

八月三日(土)飯田りんごんが開催され、自治会座光寺連と座光寺小学校六年の皆さんが参加しました。

座光寺小学校チームは調和賞を受賞するなど、活躍しました。



座光寺連の皆さん



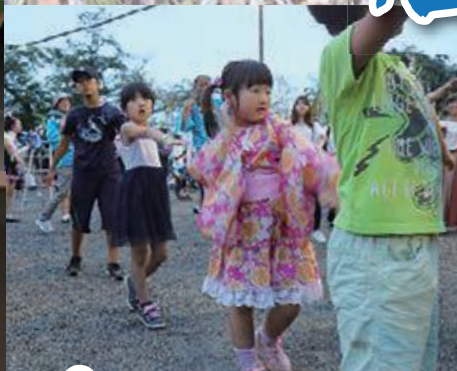
座光寺小6学年の皆さん



第10回

座光寺夏祭り

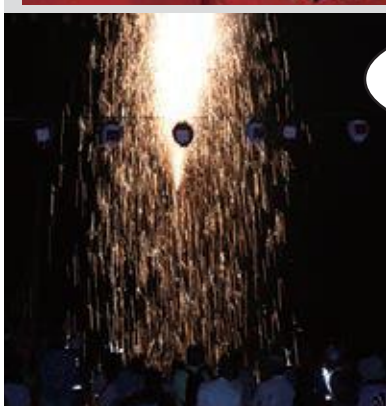
令和元年
7月20日(土)



座光寺音頭で
盛り上がりよう!



スペシャルゲストの
ニッチロー'さんです



こっちにも投げて〜
(宝なげ)



麻績校舎に映える幻想的な
プロジェクションマッピング



令和元年8月3日(土)

座光寺人形劇まつり



今年も屋台は大盛況



快挙! 座光寺小6年男女混合リレー県代表で全国へ!

種目: 男女混合4×100mリレー 座光寺小6年Aチーム 長野大会(6/23:県松本平広域公園陸上競技場) 54秒85 **優勝**
 全国大会(8/9~10:横浜市日産スタジアム) 54秒95 全国45位
 メンバー:小池悠(下羽場)・千葉唯花(市場通り)・春原秀(恒川清水)・木内恵琉(市場通り)・萱間美祈(上野)・今村信晴(恒川清水)

種目: 男女混合4×100mリレー 座光寺小6年Bチーム 長野大会(6/23:県松本平広域公園陸上競技場) 56秒14 **第3位**
 東海大会(8/24:三重交通Gスポーツの杜伊勢) 56秒79 予選18位
 メンバー:田原隼(恒川清水)・湯田うらら(市場通り)・伊坪優(大堤)・吉澤悠人(中羽場)・林勇磨(大堤)・原千夏(宮ノ前)

6月23日に行われた、長野県小学生陸上競技大会男女混合4×100mリレーにおいて、座光寺小学校6年Aチームが優勝。また、6年Bチームが第3位となり、Aチームは横浜で開催された全国大会に、Bチームは伊勢市で開催された東海大会に出場しました。

小学生陸上競技大会に出場する子どもたちは、ほとんどの場合、陸上クラブに所属し、複数の小学校から児童が集まってチームを構成します。

そんな中、座光寺小のチームは、座光寺小6年生だけで構成されており、このチームが長野県の大会で、表彰台の1位と3位を占めるという快挙は、座光寺の子どもたちが支えあい、チームワークを高めてきた結果で、地域に勇気と感動を与えてくれました。

全国大会に出場した小池悠

さんは、「全国大会は県大会とは比べ物にならないくらい大きな会場で、他のチームも強そうでプレッシャーがすごかった。走っている途中、多くの観客の中からお母さんの応援する声ははっきり聞こえて力になった。全国のレベルは高く、歯が立たなかったけど、みんなで練習してきた成果を出し切れてよかった。」と大会の

感想を聞かせてくれました。

また六学年の担任でチームの指導を行った滝沢翔太先生は「このような素晴らしい舞台に立つことができたのは家族や学校の仲間の応援のおかげです。そして何より子どもたち自身が「もっと速くなりたい」という思いを行動に移し、リレーメンバーのみならず他のメンバーも含め、仲間と共に努力を積み上げてきた素晴らしい成果だと思います。」と子供たちの活躍をたたえていらつしやいました。



県大会の結果をうけて市長を表敬訪問する選手たち

貴重な体験 元プロ野球選手との交流会

座光寺少年野球クラブ

六月二十三日(日)、座光寺少年野球クラブは元プロ野球選手を招いて交流会を行いました。少年野球チームと交流して下さったのは、元横浜ベイスターズの内野手 呉本成徳さん。

少年野球クラブの下島監督が、松商学園で呉本さんの先輩であったのが縁で、交流は本年で二年目です。

昔に比べ子ども達が、プロ野球選手と交流する場は増えてきましたが、少人数の子どもたちに長時間ふれあっていた、ただく機会は滅多にないとの事で、子ども達には大変貴重な経験となりました。

守備の練習中、呉本さんは、捕球した後、慌てずに一呼吸おいてから送球するようにアドバイスすると、悪送球が無くなり、子ども達は早速コツをつかんだ様子でした。

保護者代表の柳沢竜治さんは、「今回の交流会を実現させるためには、自治会はじめ多くの方の協力をいただいた。心から感謝したい。今後このような交流会を

継続して、子ども達に本物の野球にふれさせてあげたい。」とおっしゃっていました。

六年生でキャプテンの下島海登さんは、「呉本さんは背が高く、びっくりした。練習ではバットの構え方をアドバイスしていただいたらインコースにうまく対応できるようになった。将来、甲子園に出場して、呉本さんに雄姿を見ていた、だきたい。」と目を輝かせていました。



丁寧に指導してくださった呉本さん

座光寺少年野球クラブはメンバーを随時募集中です。毎週土日に、座光寺小学校グラウンドで練習していますので、ぜひ見学にお越しください。

春季スポーツ大会開催

ソフトボール決勝は同点ジャンケンで高岡V

6月2日(日)春季スポーツ大会が開催され、子どもからご年配の方まで大勢の皆さんが参加して、親睦を深めました。昨年に引き続き、ソフトボール・ペタンク・ワンバウンドふらばーるバレーの3種目が行われ、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

特にソフトボール、高岡と



ふらばーるバレー優勝の恒川清水地区



ペタンク優勝の恒川清水地区

大堤の決勝戦は、両者一歩も譲らない試合となりました。最終回後攻の高岡は1アウト満塁、外野に飛ばせばサヨナラの大チャンスでしたが、大堤が好守備で守りきり、規定により引き分けゲームセット。ジャンケンの末、高岡の優勝となりました。



ソフトボール優勝の高岡地区

結果は次の通り

ソフトボール

優勝 高岡地区

準優勝 大堤地区

ペタンク

優勝 恒川清水地区

準優勝 中中欠地区

ワンバウンドふらばーるバレー

優勝 恒川清水地区

準優勝 上野地区

ホタルを見る会

ヘイケボタルと

ゲンジボタル

座光寺小五年 菅野 純礼
ホタルを見る会がありました。

わたしは、先生達の話を聞いて、びっくりしたことがあります。それは、ヘイケボタルは長野県の絶めつきぐ種に指定されたそうです。ヘイケボタルが長野県にずっと残っていてほしいです。

先生達の話を聞いた後、ホタルをさがす場所へ移動して、ホタルをつかまえて観察しました。わたしは、ヘイケボタルとゲンジボタルの見分け方がむずかしかったです。その見分け方は、二つあります。



ホタルについて事前学習



捕まえたホタルを観察中

一つは、大きさです。ヘイケは小さく、ゲンジは大きいです。しかし、この見分け方は、ヘイケとゲンジ二ひきいれないとできないそうです。

二つ目は、むねの上の黒いたて線です。ヘイケは太く、ゲンジは上よりに太いところがあるそうです。かい中電灯を使わないと調べられませんでした。

でも、オスとメスは、かんとんに見分けられました。その見分け方は、オスは光る所が多く、メスは光る所が少ないので、うら側を見ればすぐに分かるので、あまり時間がかかりませんでした。調べてみたら、オスの方が多く見つかりました。

また、来年もホタルを見る会に行きたいです。

成人式に向け
PT同窓会が
開催されました

成人式に向けて、来年成人を迎える皆さんが集まりPT同窓会が開催されました。

同窓会では、式典の内容や、座光寺についての地域学習として、リニア駅やスマートインターの予定地を見学しました。

その後、成人式の運営を行う公民館文化部の皆さんと懇親会を行い楽しい同窓会となりました。

参加した澤口治義さんは、大勢の方が参加してすばらしい成人式にしたいとおっしゃっていました。



スマートインター予定地を見学する参加者

座光寺の自然 シリーズ⑬ エンマコオロギ

お盆を過ぎた頃、夜になると庭先からたくさんさんのコオロギの声が聞こえるようになります。オカメコオロギ、ツツレサセコオロギが多いのですが、エンマコオロギもよく聞こえます。エンマコオロギは「コロコロコロリー……」と美しい声で、他のコオロギとは全く違います。この声はスズムシよりも良いという人もいます。九月中旬を過ぎて夜の気温が低くなると、朝夕に鳴くようになります。

このコロコロコロリー……



エンマコオロギ雄；体長約20mm。全身黒褐色。翅の縞模様は発音と音を増幅する装置で雌には無い

というのは誘い鳴きといって雄が雌を呼ぶ声です。雌が近くに来たときは丸みのある低い声で「リーリー」と交尾を促します。また他の雄と争うときは「キツキツ」と鋭い音になります。

虫の声は関心のない人には単なる音。雑音（ノイズ）にすぎず、耳に入ってきません。ちよつと耳を傾けてください。きつと「これがエンマか」とわかるはずで。大きさも日本のコオロギでは最大で、座光寺でも人家や畑、路傍の草むらにたくさんいます。山林内にはいませんからオーブンランド型の虫なんです。

「エンマ」の由来

エンマというのは地獄の閻魔（えんま）大王を指しています。「なんで？」と思うかもしれませんが。写真で顔を紹介しましょう。「閻魔様に似ている？」「だって閻魔様の顔を知らないよ」と



エンマコオロギの顔；閻魔様に見える？ 私、女性ですが肌につやがあるでしょう。何か？

生活史

くるはず。昔の人も同じはずですが……。おそらく「閻魔様はこんな顔なんだろう」ということからきたのだと思います。昔の人は身近な動植物を良く見ていましたから、平安時代には名前がついていたのではないのでしょうか。

九月末になると、雌は腹端にある長い産卵管で土中に卵を産みます。土の中は卵にとつてはゆりかご。乾燥や低温・外敵から守ります。翌年六月、白い幼体が土から出てきます。すぐに体色は黒くなって、五回ほど脱皮して成虫になる年1化型です。食べ物は動植物何でも、雑食性です。

「いたずら」への対応

多くの人は気づいていませんがちよつといたずらをします。ネギの幼苗が好きなんです。九月上旬に畑に蒔いたネギの芽吹きを食べます。ネギはたくさんなたねを蒔きますから、気づかないものです。私はネギ、タマネギのたねを育苗箱（発泡スチロール代用可）に蒔いて草むらから離して庭に置きます。ほとんど被害がありません。（小林正明）



エンマコオロギ幼虫。白い横線が特徴

編集後記

今年も猛暑の中、八月三日（土）に座光寺人形劇まつりが、開催されました。関係者の皆さん、大変お疲れさまでした。

終了後の懇親会では、劇団の方々も一緒に公民館の駐車場で焼き肉を囲みました。ガスコンロ、肉などの一式は、上飯田の某焼き肉店に依頼しており、店員さんが準備してくれました。その後ろからカメラを構えた怪しい集団が登場。県内某テレビ局、夕方の情報番組で焼き肉の出前システムについての取材だという。次第に夕立雨が激しくなってきたところ、また別のカメラ集団が登場。聞くと某大手テレビ局、月曜二十二時からの個性的な地方を探る番組であった。大雨の中、公民館の駐車場で焼き肉を囲む集団はどのように編集されるのだろうか。

焼き肉のみならず、飯田独自の文化は、さらに発展してほしいものです。（広報部H）



取材中でも慰労会は盛り上がる…